

麒麟獅子舞、伝統つないで

道の駅浜坂の郷でフェスタ

但馬地域と鳥取県東部に伝わる伝統芸能「麒麟獅子舞」の知名度向上や後世への継承などを考える「日本遺産但馬麒麟獅子舞フェスタ2023」(新温泉町教委主催)が21日、同町栃谷の道の駅山陰海岸ジオパーク浜坂の郷で開かれた。来場者は展示やステージ鑑賞などを通して、地域が誇る麒麟獅子舞の魅力に触れた。

国の指定重要無形民俗文化財の麒麟獅子舞に関心を持ってもらうきっかけにしようと但馬地域で今回初めて開催した。

特設ステージでは、浜坂高麒麟獅子舞部や同町千谷、三尾、居組3地区の保存会による舞、鳥取市の劇団によるマリオネット劇が次々と披露され、来場者は獅子の一挙



一動を見逃すまいとくき付けになって見入っていた。

この他、麒麟獅子の実物大模型の展示のほか、この日のために制作した子ども用獅子頭の貸し出しや美方郡内10地区の麒麟獅子舞の塗り絵など体験コーナーもあった。

郡内の保存会をまとめる但馬地域麒麟獅子舞保存会の西脇明会長は「麒麟獅子は鳥取のイメージが強いが郡内にも多く残っており、地域ごとに特色があることを多くの人に知ってほしい」と話した。(足立七海)

荒々しい動きが特徴の舞を披露する千谷麒麟獅子舞保存会のメンバー＝21日、新温泉町栃谷の道の駅山陰海岸ジオパーク浜坂の郷